

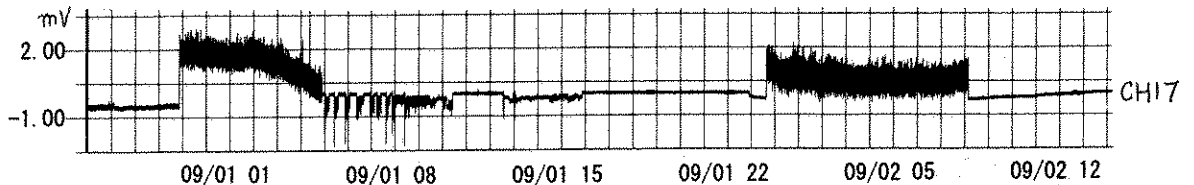
原稿校了後の前兆変化について

八ヶ岳南麓天文台 Yatsugatake South Base Observatory 山梨県北杜市大泉町谷戸8697-1 研究室 FAX 0551-38-4254
Astronomical Observatory: SINCE 1985 Earthquake Forecast Observation & Research: SINCE 1995

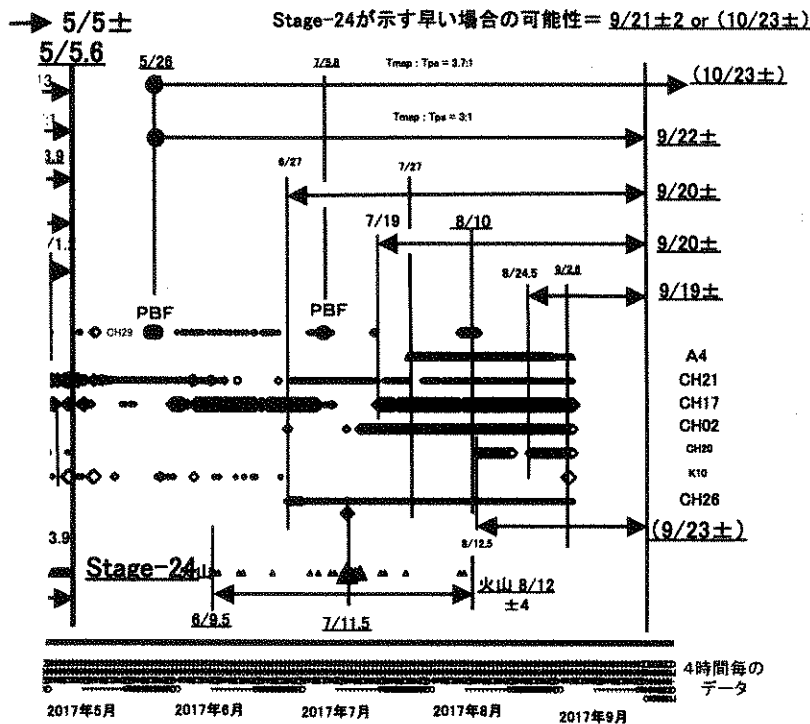
No.1778長期継続前兆続報 K10 に短時間特異出現

Stage-24 早い場合の推定=以前の推定 9/21±の可能性の方が考え易い

CH17が短時間
正常基線記録
CH02も完全系
状特異でしたが、
9/2より微弱な
変動出現
前兆は減衰中。



9/2~3に計14時間、正常基線を記録した特異中のCH17基線



4時間毎のデータ

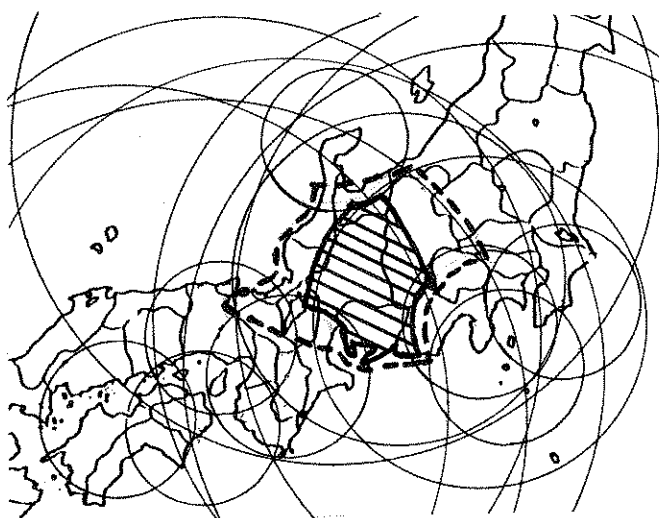
長期継続特殊前兆No.1778前兆群の続報現況報告です。前回までは、現在の第24ステージの前兆動向から、9/8±の可能性も否定できないこと、但し、その場合には、08月末日に前兆終息が観測される筈であること09月初旬段階で前兆継続の場合は、対応地震発生は、より先となること等を報告させて頂きました。

本日 9/3夕刻現在、継続しているNo.1778関連前兆は継続出現しております。また表題のとおり、9/2.6 を中心に短時間、高知観測点の K10観測装置に特異前兆出現が観測されました。

これらのことから、09月08日±発生の可能性は否定され、それまでの前兆関係認識が誤りであることが確実となりました。

あらためて現在までの第24ステージの前兆動向の関係を見直し、早い場合の可能性として、9/21±2の可能性が示唆されることとなりました。当初考えていた時期でもあります。仮に9/21±が正しい場合には、9/2.6 極大認識に対し→前兆終息推定=9/16.5±が計算されます。今後の前兆変化を観測し、上の時期に前兆終息が観測されるか、されない場合はより先となる可能性も考え、続報で報告させて頂きます。

※推定領域の東側限界を決めているのは新居浜100w局の検知限界。大枠推定域点線内領域では、少々考え難いですが、新居浜局限界を外してあります。参考。



- ◆推定領域：左図 点線領域内=大枠推定領域
太線内斜線領域=可能性が考えやすい推定領域
(※ある程度火山に近い領域の可能性有)
- ◆推定規模：M7.8±0.5 震源浅い日本列島の陸域地殻地震推定
(※複数の PBF前兆出現から PBF継続時間計測定より算出)
- ◆推定時期：前兆完全終息迄発生時期確定計算できません。
但し、現段階で考えられる可能性=9月21日±2
この場合9月16日±に前兆終息となることが条件
今後極大が無い場合9月18日段階で前兆継続の場合は10月等の可能性となるため、再考し続報予定。
- ◇推定発生時刻：午前9時±1時間 (又は午後6時±3時間)
(※複数の基線幅増大BT前兆日々変化時刻測定より)